

各 位

2024年2月13日
株式会社リットーミュージック

スージー鈴木の新刊『〈きゅんメロ〉の法則』発売！
「卒業写真」、「いとしのエリー」、「群青」などなど、
日本人が大好きな「きゅん」となるコード進行の謎に迫る！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『〈きゅんメロ〉の法則 日本人が大好きすぎる、あのコード進行に乗せて』を、2024年2月13日に発売します。

本書は、音楽評論家・スージー鈴木による『Vocal Magazine Web』の連載コラム、「きゅんメロの秘密」を加筆・再編集して書籍化。「F→G→Em→Am（4→5→3→6）」というコード進行を使った日本のヒット曲を取り上げ、そこで生まれた〈きゅんとするメロディ＝きゅんメロ〉を分析していきます。著者が独自に開発した「ス式楽譜」を使用しているので、楽譜が読めない方でも簡単に構造が理解しやすくなっているところもポイント！



川原伸司 × スージー鈴木

21 2023/3/10公開

「青春の影」は「きゅーーんメロ進行」

荘厳で品格ある「カノン進行」

日本のコード進行のイノベーションを推進したのは「水戸黄門と勘次郎さん」ならぬ「ユミン黄門様と和さん・和さん」だという話を、前回しました。和さんとは、小田和正と財津和夫。前回は小田「和」正さんのオフコースだったので、今回は財津「和」夫さん率いるチューリップの曲を取り上げます。

曲は「青春の影」。日本ポップス史に残る大名曲だと思います。そのポイントは、1974年のリリースにもかかわらず、コード進行が随分モダンなこと。

もちろん、そのモダンさには「きゅんメロ進行」も寄与しているのですが、それよりも曲の韻となっているのは「カノン進行」です。私の造語「きゅんメロ進行」は、世間的に全然流行っていませんが(くそっ)、「カノン進行」は、音楽ファンの間で、かなり知られるようになりました。

「バッベルベルのカノン」という17世紀に作られたバロック音楽で使われたコード進行です——という触れ込みに恥じない、いかにも荘厳で品格のある響きの進行。ユミン黄門様であれば「守ってあげたい」(1981年)や、オフコースなら「生まれ来る子供たちのために」(1980年)がこの進行を使っています。が、日本で「カノン進行」と言えば、山下達郎「クリスマス・イブ」(1983年)にとどめておきましょう。

じゃあ、どんなコード進行なのかというと、これがひとことでは書けない。世間が「カノン進行」とする可能性のあるコード進行を、あえてすべて並べるとこんな感じになります(これは保存版「スージー鈴木特製カノン進行一覧表」!)

この一覧表、左から右に流れます。複数のコードが縦に並んでいるのですが、どの経路を使っても、荘厳で品格ある感じは原則変わりません。

なので、細かな話はともかく、まずは一番上の「C→Em→Am→Em→F→C→Dm→G」を弾いてみてください。ほらほら、聴いたことあるでしょう? そうなんです。ユミン黄門様と和さん・和さんや、山下の達さんを超えて、実は平成Jポップで、やたらと使われたコード進行なのでした。

で、チューリップに話を戻すと、そんな平成Jポップなコード進行で、この日本でいち早く多用したのが、彼らだったのです。70年代前半のシングル「魔法の黄色い靴」(1972年)、「心の旗」、「夏色のおもいで」(ともに1973年)。そして、今回の「青春の影」と、すべてに「カノン進行」が使われています。

106
107

第2章：第21回 「青春の影」は「きゅーーんメロ進行」より

■ 書誌情報

書名：〈きゅんメロ〉の法則 日本人が好きすぎる、あのコード進行に乗せて

著者：スージー鈴木

定価：2,200円(本体2,000円+税10%)

発売：2024年2月13日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3123343008/>

第1章：「きゅんメロ進行」とは？

- ・そもそも「F→G→Em→Am」とは何か
- ・「F→G→Em→Am」のキーは何か
- ・「F→G→Em→Am」はなぜ「きゅん」とするのか
- ・「F→G→Em→Am」と「C→D→Bm→Em」は同じ？
- ・「F→G→Em→Am」以外の「きゅんメロ」
- ・そして「ス式楽譜」について

第2章：「きゅんメロ進行」名曲分析

- 第1回 あのメロディに胸がきゅんとする理由
- 第2回 「きゅんメロ」のツンデレを体感する
- 第3回 「きゅんメロ進行」をギターで体感する
- 第4回 「きゅんメロ界」の金字塔～荒井由実「卒業写真」
- 第5回 「悲しみがとまらない」の圧縮→爆発メカニズム
- 第6回 「夢で逢えたら」と「きゅんメロ・セブン」
- 第7回 ジェットコースター的な「翼の折れたエンジェル」
- 第8回 荒井由実「卒業写真」が引っ張る「後ろ髪」
- 第9回 「ラジオ・マジック」に見るハードロックな「後ろ髪」
- 第10回 少年隊「ABC」の「イケイケダンス進行」で踊れ！
- 第11回 浜田省吾「J.BOY」も「イケイケダンス進行」？
- 第12回 YOASOBI「群青」の「おくれ毛コード進行」
- 第13回 YOASOBI「群青」は「きゅんきゅんメロ」！
- 第14回 「群青」の源流「ゲレンデがとけるほど恋したい」
- 第15回 「シーズン・イン・ザ・サン」は湘南の香り
- 第16回 「エイリアンズ」は「シティとポップ」だ
- 第17回 「あの時君は若かった」は日本最古のJポップ
- 第18回 EXILE「Lovers Again」のサビが印象に残る理由
- 第19回 渡辺美里「My Revolution」の「9th 革命」
- 第20回 「Yes-No」の「パステルカラーきゅんメロ」
- 第21回 「青春の影」は「きゅーーんメロ進行」
- 第22回 「思い出がいっぱい」の「きゅん+ミファミレド」
- 第23回 中森明菜をブレイクさせた「大きゅんメロ進行」
- 第24回 「愛はかげろう」と「世情」の「枯葉進行」
- 第25回 浜田省吾「ラストショー」歌い出しの魔法
- 第26回 一番有名な「きゅんメロ」＝「いとしのエリー」
- 第27回 ヒゲダン「イエスタデイ」はJポップの真打ち
- 第28回 「そして僕は途方に暮れる」の「きゅんメロ解決」
- 第29回 世紀末の日本を盛り上げた「LOVE マシーン」
- 第30回 「最高峰きゅんメロ」＝「Woman “Wの悲劇”より」

第3章 : きゅんメロを語る

- ・ マキタスポーツ × スージー鈴木
- ・ 川原伸司 × スージー鈴木

第4章：総論——「きゅんメロ進行」が好かれる理由

- ・ 「きゅんメロ」の作り方
- ・ セブンスとメジャーセブンスと分数コード
- ・ 「きゅんメロ」と日本文化
- ・ 「きゅんメロ」の発生過程
- ・ 「きゅんメロ」のこれまでとこれから

PROFILE

スージー鈴木（すーじー・すずき）

1966年、大阪府東大阪市生まれ。

音楽評論家、ラジオDJ、小説家、野球文化評論家。

◎おもな著書

『ザ・カセットテープ・ミュージックの本〜つい誰かにしゃべりたくなる80年代名曲のコードとかメロディの話〜』、『いとしのベースボール・ミュージック』（小社刊）、『幸福な退職 「その日」に向けた気持ちいい仕事術』、『桑田佳祐論』、『サザンオールスターズ1978-1985』（新潮新書）、『中森明菜の音楽1982-1991』（辰巳出版）、『EPIC ソニーとその時代』（集英社新書）、『弱い者だけが夕暮れて、さらに弱い者たたきよる』、『恋するラジオ〜Turn on the radio』（ブックマン社）、『平成Jポップと令和歌謡』、『80年代音楽解体新書』（彩流社）ほか多数。

◎スージー鈴木 硬式サイト『週刊スージー』

<https://suzie.boy.jp/>

EVENT

『〈きゅんメロ〉の法則 日本人が好きすぎる、あのコード進行に乗せて』発売記念 スージー鈴木さんトークショー ゲスト「なのはな」さん

日時：2024年3月9日（土）13:45 開場 14:00 開始

場所：書泉グランデ6階（東京・神保町）

出演：スージー鈴木、なのはな（ピアニスト）

内容：「〈きゅんメロ〉の法則」について、実際にコードの響きを聴きながら、わかりやすく理解できる楽しいトークイベントです。さらに、ここでしか聴けない「きゅんメロだらけのRemixメドレー」や、フジテレビ『芸能界特技王決定戦 TEPPEN』優勝のピアニスト、なのはなさんを「き

ゆんメロ・ガール」に迎えたトークなど、盛りだくさんの内容でお届け。トーク終了後、ご希望のお客様にはサイン会も行ないます！

お問い合わせ：書泉グランデホームページ

<https://www.shosen.co.jp/event/18578/>



なのはな

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに

専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp